

5-5

男女共同参画社会の推進



目次

男女共同参画推進事業.....	1
ちくご参画の翼.....	3
男女共同参画啓発イベント.....	5
男女共同参画推進講座.....	7

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 75 事務事業名 男女共同参画推進事業

部 男女共同参画推進室

担当部署 男女共同参画推進室男女共同参画推進係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 5 男女共同参画社会の推進

上位施策のねらい
男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる社会が実現される。

基本事業 男女共同参画推進の制度・推進体制の整備

根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法	作成日	平成25年 8月14日
		事業開始	平成 9年度
		事業終了	

必要度合 法律で実施が義務付けられている

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

なし

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

- ・男女共同参画に関する事業を市全体で総合的に推進している。
- ・担当部署職員が先頭となり、市民、関係各種団体等への男女共同参画社会形成の推進を図っている。
- ・男女共に、家庭・地域・職場等のあらゆる分野への参画意識が向上し、男女間の不平等がなくなっている。
- ・男女共同参画の重要性が市民に理解され、実践されている。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民	なし	なし

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

- ・筑後市男女共同参画行政推進会議の開催（「筑後市男女共同参画計画ひろがり3」に基づいた年間事業計画や審議会等への女性の登用計画を作成し、行動計画の進行管理を行う。）
- ・市職員の意識の向上、計画の周知徹底を図るため、研修会の開催や国・県からの情報を提供する。・各課との連携を図りながら、推進のための事業を企画開催する。
- ・筑後市男女共同参画審議会の開催
第1部会・第2部会に分かれて審議。
筑後市男女共同参画計画「ひろがり3」に基づく市の事業の進捗状況に対するの提言。

成果指標名①	単位
行動計画に基づく事業の評価平均点数（5点満点）	点
計算式	評価合計点数÷評価事業数
成果指標名②	単位
各審議会等の女性の登用率（県提出分）	30%
計算式	女性の登用数÷全体の数×100
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
行動計画に基づき計画された事業数	件
活動指標名②	単位
行政推進会議・審議会（部会）開催回数	回
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	計画・運営・調整	計画・運営・調整 第4次筑後市男女共同参画計画「ひろがり3」の策定	計画・運営・調整	計画・運営・調整	計画・運営・調整	計画・運営・調整	計画・運営・調整	計画・運営・調整
	実績	男女共同参画審議会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会	男女共同参画審議会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会 筑後市男女共同参画推進 実行委員会					
年度別計画	ア予算額・決算額	千円	2,075	633	1,441	1,441	1,441	1,441
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		2,075	633	1,441	1,441	1,441	1,441
イ従事者数(正規)	人	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ従事者数(臨時等)	人	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	4,268	2,826	3,634	3,634	3,634	3,634	3,634
ク成果指標①	点	3.22	3.13	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
	②	30%	29.40	32.70	31.90	40.00	40.00	40.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ活動指標①	件	66.00	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
	②	回	19.00	1.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ活動1件当たりコスト	千円	31.4	14.3	32.7	32.7	32.7	32.7	32.7

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 75 事務事業名 男女共同参画推進事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	国内において、1999年に男女共同参画社会基本法が施行された。その後、筑後市においても男女共同参画社会実現に向け、男女共同参画推進条例の制定の他、様々な取り組みを行ってきたが、少子・高齢化、景気の低迷、価値観の多様化など市民を取り巻く環境は大きく変化している。平成22年に行った市民意識調査の中では、基本的な人権の尊重、男女平等についての意識は高まってきているが、一部には、性別による役割分担意識、女性への差別、男性優位の社会的慣習も根強く残っており、男女共同参画社会が進んでいないのが現状である。
--------------------------------------	---

4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	男女共同参画社会の実現に向けて、継続した啓発を行う必要がある。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	市民全体を対象とした事業を実施する。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	「映画上映会」は、男女共同参画をより身近なものとして理解するツールとして有効である。市の事業に対する審議会からの答申書（提言）が、事務事業評価・予算措置に有効に活かされるように、各課に対し引き続きヒヤリングを行いつつ、行政推進会議等の研修を実施し、推進体制を強化していく。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	コスト削減余地	無
	男女共同参画に係る各課の実施事業を、男女共同参画審議会に諮問し、その推進状況に対して、意見や評価をもらうことで、男女共同参画を進めていくための効率化が図られている。しかし、実施事業に関する計画書、報告書の作成は、事務量の増加による負担及び限られた人員での対応となるため、事務的・機械的になりがちな部分であるため、各課へのヒアリングを引き続きチェック機能の一部として活用している。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 小田 美穂	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 手段改善	改善案の進捗実施状況 男女共同参画を推進するため、各課の実施事業の中に男女共同参画を推進する要素が含まれているかの精査を進め、事業が実情にあっているか、目標が高すぎないか、市が権限を持っているか等での絞込みを行い、確実な推進に結び付けていく。	ウ 今後の具体的な対応策、実施案 平成24年度は男女共同参画計画「ひろがり3」の初年度であり、担当各課に計画の提出をお願いした。今後、事業の評価を行っていく。各課の事務事業に男女共同参画を推進する要素、意識が含まれるよう、事業の評価と計画について、的確な進捗管理やアドバイスが行えるよう、審議会の答申等を活かしていく。 上映会等も多数の市民へ啓発となるよう、実行委員会等の活性化を図る必要がある。
次年度の投入資源 事業費 <u>拡大</u>		

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 78 事務事業名 ちくご参画の翼

部 男女共同参画推進室

担当部署 男女共同参画推進室男女共同参画推進係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 5 男女共同参画社会の推進

上位施策のねらい
男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる社会が実現される。

基本事業 まちづくりにおける女性の参画の推進

根拠法令・要綱等	なし	作成日	平成25年 7月17日
		事業開始	平成 6年度
		事業終了	

必要度合 不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

福岡県 女性研修の翼

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

本事業の視察研修に参加した者及び企画協力に関わった実行委員が地域の男女共同参画社会づくりを担うリーダーとして活躍している。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	実行委員会委員参加団員	なし	市内女性団体

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

- ・筑後市内在住者及び通勤・通学・各種団体に所属する方に広報で募集をはかる。
- ・実行委員会を組織し、訪問地の決定など企画から実施までを行う。
- ・男女共同参画行政についての先進地を視察し、参加者自身の学習や今後の活動の参考とする。
- ・研修後は、研修の報告会を開催する。

成果指標名①	単位
研修後のちくご翼の会加入率	%
計算式	加入者÷参加者×100

成果指標名②	単位
研修後の女性人材リスト登録率	%
計算式	登録者÷参加者×100

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
実行委員会（事前・事後研修含む）開催回数	回

活動指標名②	単位
参加者数	人

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	参加者による実行委員会での計画・運営・調整							
	参加者による実行委員会での計画・運営・調整							
年度別計画	実績	●視察期間：平成24年3月25～26日 ●視察先：社会福祉法人ふたば園 さんみ苑【研修会】事前5回【報告会】平成24年6月26日	●視察期間：平成24年10月25～27日 ●視察先：宮城県仙台市【東日本大震災被災地】【研修会】事前3回、事後1回【報告会】平成25年1月22日					
	ア予算額・決算額	千円	61	125	125	250	250	250
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	その他財源	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	61	125	125	250	250	250	250
	イ従事者数(正規)	人	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
	ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
	エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
	カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	460	524	524	649	649	649
ク成果指標①	%	4.00	0.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	② %	26.00	0.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
	③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ活動指標①	回	5.00	4.00	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00
	② 人	4.00	8.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ活動1件当たりコスト	千円	12.2	31.2	17.8	35.7	0.0	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 78 事務事業名 ちくご参画の翼

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	国内の男女共同参画に関する施設・施策を見直し筑後市男女共同参画事業に活かすことを目的としている。しかし、参加者の確保が困難な状況となっており今後、企画を工夫する必要がある。
--------------------------------------	--

4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地あり	上位施策貢献度	中
	市民アンケート結果にも現れているとおり、市民の意識において、市の施策の中の男女共同参画の優先度は低い。ただし、男女平等の教育は現在進められており、今の若年世代には男女共同参画は当然のことという認識があるので、それを継続して広めていくための学習の機会を設けることは重要であると思われる。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	平成24年度より男女ともに参加対象としている。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	この事業に参加し、研修を行ってきた方たちは、事後に「ちくご翼の会」の一員として、男女共同参画に関することを中心に学習を継続し、地域での発表も行っており、一定の効果はある。しかし、最近では若い世代の参加者が少なく、この人材を通じた若い世代への男女共同参画の啓発へとは直結していない。今後、参加者⇒男女共同参画を推進していく若い世代を増やすための工夫が必要である。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	コスト削減余地	無
	参加者による実行委員会形式での企画・運営としているため、一定の効率性はあるが、今後も「ちくご翼の会」の協力を得ながら、さらに効率的な事業運営を進める。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 小田 美穂	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 若い世代が社会活動を行う余裕がない世情もあり、男女共同参画の推進に対する市民の優先度が低い状態が続いていることが参加者数の低迷の一因ではあるが、引き続き、この事業の周知・広報をホームページや広報紙、チラシで行い、地域における男女共同参画の推進役となる人材育成の場となるようにする。
次年度の投入資源 事業費 <u>拡大</u>		ウ 今後の具体的な対応策、実施案 男女がともに、企画の段階から参画で学ぶの機会であり、男女共同参画の啓発、推進の場となっている。広く参加者を募るため、経費の拡大が必要である。

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 79 事務事業名 男女共同参画啓発イベント

部 男女共同参画推進室

担当部署 男女共同参画推進室男女共同参画推進係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 5 男女共同参画社会の推進

上位施策のねらい
男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる社会が実現される。

基本事業 男女共同参画社会の実現に向けての市民への啓発

根拠法令・要綱等	なし	作成日	平成25年 7月17日
		事業開始	平成10年度
		事業終了	

必要度合 不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

福岡県 あすばるフォーラム

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

・市民が男女共同参画について正しく理解し、男女共同参画に関する市民活動を行う人が増える。
・実行委員会等の関係者及び市民が主体となるイベントを開催することによって、男女共同参画に関する理解を深め、さらには地域でのリーダーとして活動するようになる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民	なし	市内各市民団体

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

○実行委員会を立ち上げ、市民による企画・運営を行う。実行委員は各団体から選出
平成24年度から「男女共同参画啓発イベント」として『ちっこふれあいフォーラム』と名称を変更し単独開催
開催日 平成24年度は11月18日（日） 平成25年度は12月1日（日）
【事業内容等】◇講演会…男女共同参画に関する講演 ◇男女共同参画活動団体の活動報告パネル展示等 ◇その他 実行委員会にて決定
【実行委員会】事前6回程度、事後1回開催
【周知方法】ポスター、パンフレット、広報、市HP

成果指標名①	単位
参加者数（延べ人数）	人
計算式	イベント参加者数
成果指標名②	単位
参加者満足度平均点（アンケート・5段階評価）	点
計算式	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
実行委員会開催回数	回
活動指標名②	単位
ポスター作成枚数	枚
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	実行委員会による企画・運営	◇講演会	◇講演会等	◇講演会	◇講演会	◇講演会	◇講演会	◇講演会
	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等	◇各団体の活動報告やパネル展示等
実績	●志願者フェスタなどの市民活動推進	●男女共同参画啓発イベントとして単独開催	●ちっこふれあいフォーラム実行委員会（仮）設立	●講演会、ポスター作成、パンフレット作成、手配	●ポスター、チラシ配付			
	●スタンプラリー単品	●ポスター・リーフレット						
ア予算額・決算額	千円	705	609	872	750	750	750	750
国・県支出金		0	0	246	0	0	0	0
その他財源		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		705	609	626	750	750	750	750
イ従事者数(正規)	人	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ従事者数(臨時等)	人	0.15	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	3,164	3,068	3,331	3,209	3,209	3,209	3,209
ク成果指標①	人	1,332.00	320.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
②	点	3.99	3.86	4.50	4.50	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ活動指標①	回	7.00	8.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
②	枚	400.00	250.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ活動1件当たりコスト	千円	100.7	76.1	124.5	107.1	107.1	107.1	107.1

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 79 事務事業名 男女共同参画啓発イベント

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	市民を取り巻く環境は、少子・高齢化、高度情報化、地方分権など大きな転換期を迎え、行政主体のまちづくりから、「市民が主役のまちづくり」の市民と行政の協働によるまちづくりへと環境が変化している。そんな中で、男女共同参画についての意識啓発を図る市民が実行委員として企画し運営。14回目の開催となるが、男女共同参画についての、認知度は高まってきているものの、さらに身近な問題であると認識してもらえるようなイベントになるような工夫が必要となっている。
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地あり	上位施策貢献度	大
	<small>“男女共同参画”のイベントとして、実施する必要性 ⇒6月の男女共同参画週間、11月のDV防止週間とあり、啓発を実施する重要性はあるが、他のイベントと開催時期が重なるため、時期を調整し、12月にイベントを開催 これまでのアンケートや実行委員会での総括の意見の中でも、「“男女共同参画”の色が見えない」、「“サンコアまつり”は、大きく見直すべき」という多くの意見を基に、平成24年度より単独のイベントとして開催した。 “男女共同参画”のイベントとして、充実した内容であったと思うが、サンコアまつりとして行っていたときは集客に差があり、イベントの認知度を上げる工夫が必要。</small>		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし	市民を対象に事業をおこなっている。また、スタッフは各団体代表の実行委員及び市民ボランティア（無報酬）である。	
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	サンコアまつりとして一緒に開催していたときに、市民や実行委員から男女共同参画に関するイベントとしての意義が見えないとの声が多かったことを受け、平成24年度より男女共同参画の単独イベントとして開催したが、サンコアまつりに比べ認知度が低く、集客にも差があるため、男女共同参画を推進する事業として効果を発揮させる内容に見直す必要がある。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	コスト削減余地	無
	実行委員（市民）を今まで以上に活用し、イベントの内容も吟味し、コンパクトにすることで、市民の企画・運営力がより高まり、イベント運営の効率化を図ることができる。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 小田 美穂	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 手段改善		改善案の進捗実施状況 平成24年度からサンコアまつりと離れ、単独のイベントとして開催したが、まだ認知されていないため、講演会等、幅広い世代が楽しみながら学べるイベントとなるよう、周知方法も含め工夫する。
次年度の投入資源 事業費 <u>縮小</u>		ウ 今後の具体的な対応策、実施案 平成23年度まで生涯学習フェスタと共催していたが、平成24年度から、男女共同参画啓発イベントとして、単独開催した。単独イベントとしての認知度が低く、集客数の確保が課題となった。男女共同参画を推進するための事業として啓発効果を高めるため、実行委員会の活性化を図り、事業内容等の企画等に注力する必要がある。

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 80 事務事業名 男女共同参画推進講座

部 総務部

担当部署 勤労者家庭支援施設係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 5 男女共同参画社会の推進

上位施策のねらい
男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる社会が実現される。

基本事業 男女共同参画社会の実現に向けての市民への啓発

根拠法令・要綱等	筑後市男女共同参画推進条例	作成日	平成25年 8月 1日
		事業開始	平成22年度
		事業終了	

必要度合 不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

男女共同参画講座
リーダー養成講座「プレゼンテーションスキルアップ講座」

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

地域での男女共同参画を推進するキーパーソンを養成する。講座終了後は男女共同参画サポーター（仮称）として、地域活動や職場での研修・啓発、行政区や子育てサークルなどの集まりや学習会での活動などこの講座で学んだことを活かしてもらう。さらに講座修了生を女性人材リストに登録し、審議会・委員会への女性登用を図り、市政参画の契機とする。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民		市民団体、県男女共同参画センター

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

起業して活躍している女性の実践をとおして、男女共同参画について学ぶ

成果指標名①	単位
講座修了生	人
計算式	修了者とは講座出席率80%以上の人

成果指標名②	単位
女性人材リスト登録者数	人
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
全講座の総時間数	時間

活動指標名②	単位
講座受講者数	人

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
年度別計画	計画	地域で起業し、活躍する女性を講師に迎え、個人が持つ才能を発揮する機会となる講座を開催する。	男性と女性が喜びと責任を分かち合う社会を築き、地域参画について学習してもらうため、シングルハハである講師に子育て、自分育てについて講演してもらった。	市民の中の団体に男女共同参画の視点で講座・講演会等の自主企画運営を委託する。				
	実績	わたしたちの働き方講座として3回開催し、自ら起業して活躍している5名の講師より実践活動の内容を学習した。						
ア	予算額・決算額	千円	216	174	216	216	216	216
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	その他財源	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	216	174	216	216	216	216	216
イ	従事者数(正規)	人	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	1,412	1,370	1,412	1,412	1,412	1,412
ク	成果指標①	人	13.00	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	時間	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②	人	13.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	72.0	43.5	0.0	0.0	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 80 事務事業名 男女共同参画推進講座

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	23年度の機構改革により男女共同参画推進室が勤労者家庭支援施設の建物より移動したため、事業の内容が縮小した。
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地あり	上位施策貢献度	大
	勤労者家庭支援施設の事業目的の一つとして、男女共同参画推進が謳われているが、男女共同参画推進係が東庁舎へ移動したため、連携が取りにくい状況が生まれ、一貫性を持った事業推進がなされていない。市民に推進・啓発を図っていくためにも見直しが必要である		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

5. 総合評価

ア 総合評価

課長 **高木正勝**

イ 前回評価後の改善内容

<p>事業（成果）の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____</p> <p><input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 成果向上</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</p> <p><input type="checkbox"/> 成果減少</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 期間変更</p> <p><input type="checkbox"/> 手段改善</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; height: 60px;"> <p>改善案の進捗実施状況</p> </div> <p>ウ 今後の具体的な対応策、実施案</p>
<p>次年度の投入資源</p> <p>事業費 <u>現状維持</u></p>	